

【宇治田原町】

校務 DX 計画

1. 趣旨

教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められていることから、教職員の働き方改革の一環として、校務 DX に係る取組を進める必要があります。そのため、GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリストに基づく自己点検結果による状況を踏まえ、特に本町の課題と考える事項について、各学校と連携を図りながら校務 DX の推進を図っていく必要があります。

2. 課題

すべての教職員には GIGA 端末でのアカウントが付与されており、情報共有や連絡等にクラウドサービスが活用できる環境にあります。

校務 DX 化チェックリストの結果、「保護者への調査・アンケート等のクラウドサービスを用いて実施・集計」「学校徴収金を口座振替・インターネットバンキング等を活用して徴収」「職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化している」「職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れ」などのクラウド活用は、多くの学校で行われています。

しかしながら、「教職員による校務用端末の校外におけるクラウドベースでの使用」「総合型校務支援システムの導入」の項目については、環境が整っていない状況となっています。

また、「クラウドサービス等を活用したテスト等への CBT 導入」や、保護者や児童生徒を対象とした活用はあまり進んでいない状況となっています。

その他、業務での FAX 使用や、保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類もあり、見直しが必要な状況となっています。

これらの課題を解決し、教職員の業務軽減を図ること等が求められています。

3. 校務 DX に向けた取組

教職員の業務の負担軽減、働きやすさの向上と教育活動の高度化を目指し、ゼロトラストセキュリティの考え方にに基づき、セキュリティ対策を十分講じたうえで、校務系・学習系ネットワークの統合等の整備を行います。フルクラウド環境にすることで、会議資料のペーパーレス化、校務処理に係るワークフローの自動化、そしてロケーションフリーな働き方の実現を目指します。また、クラウドサービス等を活用したテスト等への CBT 導入を進めていきます。なお、校務支援システムの導入については、今後検討していきます。

4. 業務での FAX 使用や、保護者・外部とのやりとりでの押印・署名の見直し

FAX 使用や押印については、学校から提出される申請書や報告書等の押印について見直しを行うとともに、原則廃止に向けて、各行政機関や学校とやりとりのある事業者に対して、慣行の見直しを依頼するなど、継続的に働きかけを行います。